



子育て支援センター たんぽぽ広場



先月の活動ピックアップ!

健康講座(13日)/親子遠足(26日)/誕生会(28日)/
お母さんたちによる絵本の読み聞かせ(毎週火・金)/たんぽぽばあちゃんと一緒にあそぼ(毎週水)



利用案内・お知らせ

利用日・時間帯

月～金曜日 9:45～(午前中)

※平日午後・土曜日は新規登録、子育て相談の時間となります。

居住区

市内・市外・県外・一時滞在など、お住まいの地域を問わずどなたでもご利用いただけます。

ご注意

お子さんだけのご利用、および一時預かりは行っておりません。行事の時だけでなく、日々の交流の時間にもぜひ遊びにいらしてください。

子育て通信 第315号(2026年6月1日発行)

社会福祉法人 共同福祉会 たんぽぽ保育園

子育て支援センター たんぽぽ広場

〒904-2142 沖縄市登川1-33-3

☎098-938-9379 / 子育て相談: 098-934-3568

発行責任者: 園長 嘉陽理子

子育てに不安や悩みはありませんか?

「仲間がほしいな」と思ったら

たんぽぽ広場に遊びにおいでヨ!

お子さんと一緒に 楽しい時間を過ごしましょう。

たんぽぽ広場は、主に家庭で子育てをしているお母さんたちが集まり、情報交換をしたり、お子さんと一緒にみんなで楽しく遊んだりできる交流の場です。

お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、これからママになる方も、ぜひお気軽にご利用ください。利用料は「無料」です。

対象

0歳～就学前までのお子さんと保護者の方。

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、妊婦さんも大歓迎です。

事前予約制

人数把握のため、電話またはLINEにて予約を承ります(当日朝9時まで予約可)。



持ち物

お子さんの着替え、飲み水、タオルなど。

※お菓子、ジュース、おもちゃの持ち込みはご遠慮ください。

子育て相談(秘密厳守)

来所・電話・メール・LINEで受け付けています。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

利用者の声 ～今、私の想うこと～

娘が歩き始めたタイミングで利用し始めて以来、すっかりたんぽぽの大ファンになり、書きたい事もたくさんあるのですが、特にたんぽぽ広場に来て1番感慨深かったことについて書きたいと思います。

それは、子どもだけではなく親も名札をつけ、先生達からは「きこちゃんのお母さん」ではなく「舞子さん」と名前で呼んでもらった事でした。

一見当たり前なのですが、母としての役割が始まって以来、気付かぬうちに母親業に全振りしていた(今も気を抜くとそうなっちゃう...)私にとって、支援センターの先生から名前を呼ばれる事は非日常でした。その時初めて自分自身が置いてけぼりになっている事に気づきました。

そしてここを利用し始めてから、先生達に娘の成長を共に見守ってもらえているのはもちろん、私自身が無理しすぎていないか毎回気にかけてもらったり、定期的に私たちの為の体を動かす機会があったり。

たんぽぽ広場のその在り方から、私は「良い意味で子どもと境界線を引くこと」を学んでいる気がします。

(ジェントリー舞子 うるま市在)

私たちのめざす子ども像(たんぽぽ保育園)

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自然を愛し、創造力の豊かな子ども
- ・物事をありのままにみて、自分の頭で考える子ども
- ・仲間を大切にする思いやりのある子ども
- ・働くことを喜びと感じられる子ども
- ・自分の要求をはっきり言い、相手の要求も聞ける子ども
- ・困難にぶつかった時でも、意欲的・積極的に行動できる子ども

利用登録について

当センターを初めて利用される際は、「利用登録」をお願いしています。担当より利用方法についてご説明した後、登録が完了してからご利用開始となります。

※新年度(4月)を迎えられた方は、継続利用の場合も改めて「再登録」が必要となります。

予約時にお伝えいただくこと

お電話やLINEで予約される際は、以下の内容をお伝えください。

- ・保護者の方とお子さんのお名前
- ・お子さんの月齢(または年齢)
- ・希望の日時
- ・(初めての方)「初めて利用します」と一言添えていただけるとスムーズです!

園長室の窓から

すべてを良いほうにみてあげる

ほとんどどんなことにでも、ほめられるところがある。人はいつだって真意に気づかないものであり、臆病と思うかわりに節度があると見なしても、用心深いのではなく友情なのだと見なしてもなんにも差し支えないのである。

特に若い人たちに対しては、推測にすぎない場合には、疑わしきは罰せずの精神で、すべてを良いほうに見てあげよう。若い人たちをりっぱな人間として描きだしてあげよう。そうすれば彼らは、自分はそうなのだと信じ、やがてそのような人間になるだろう。反対に、彼らを批判したところで、なんの役にも立たないのだ。

『アランの幸福論』 アラン 著

『アランの幸福論 エッセンシャル版』の中に、「すべてを良いほうに見てあげる」という一節があります。

この言葉から、先月の職員研修で学んだティーチャーズトレーニングのことを思い出しました。

ティーチャーズトレーニングでは、子どもの困った行動をただ注意するのではなく、「その子の中にある良い行動の芽を見つけ、具体的に認めていくこと」の大切さを学びました。子どもに対して「ちゃんと座りなさい」と言う前に、ほんの一瞬でも座れた場面を見つけて、「今、座ってお話を聞こうとしていたね」と声をかける。友だちとの関わりがうまくいかなかった子にも、「本当は一緒に遊びたかったんだね」と、その子の気持ちの奥にある良い願いを見ようとする。そうした関わりの積み重ねが、子どもたちの安心感や自信につながっていきます。

子どもの姿は、見る側のまなざしによって少し違って見えるものです。「まだできなかった」と見るのか、「ここまでできるようになってきた」と見るのか。

「困った行動」と見るのか、「助けを求めている姿」と見るのか。大人の受け止め方ひとつで、子どもへの言葉も、関わり方も変わっていきます。

もちろん、集団生活の中では伝えないといけないうこと、止めなければいけないこともあり、子どもたちの行動全てを肯定し許すということではありませんが、「この子を良くしよう」とするまなざしや思いだけではいついつ注意する言葉かけが増えてしまうのではないのでしょうか。それよりも「この子の中にある良さを信じて関わろう」とする姿勢を大切にしたいと思います。

「すべてを良いほうに見てあげる」という言葉は、子どもたちだけでなく、私たち大人同士の関係にも通じるものがあります。保育の現場では、忙しさの中でつい足りないところに目が向きがちです。しかし、互いの努力や思いに目を向け、「ありがとう」「助かったよ」と言葉にすることで、職員同士の関係もあたたかくなります。そして、そのあたたかさは必ず子どもたちにも伝わっていきます。

子どもは、自分を信じてくれる大人のまなざしの中で、少しずつ自分を信じる力を育てていきます。これからも私たちは、子どもたち一人ひとりの姿を良いほうに見つめ、その子らしい成長を支えていきたいと思っています。

園長 嘉陽理子

★子育てのポイント 子育ての悩み Q&A

●先月に引き続き「感染症対策」についてお伝えいたします。参考にしてくださいね。

★お誕生日くらいまで

アルコール消毒液にご注意!...ママやパパの行動が気になる頃。目にするものは何でも口に入れて確かめますからアルコール消毒液を赤ちゃんに使用することは避けましょう。手についたアルコールをなめたために、急性アルコール中毒になった事例があります。また、大人がアルコール消毒液を噴霧した際にアルコールが赤ちゃんの目に入ることも想定されます。大人がアルコール消毒をする場合は自分の手元のみで行いましょう。次亜塩素酸ナトリウムでは皮膚の消毒をしてはいけません。手洗いを頻繁に行うほうがよいでしょう。



★お誕生日をすぎてから

楽しく手洗い! バイバイ菌!...予防接種の予定がたてこんでくる頃です。予防接種は毒性を弱くしたり活性化しないよう処理をしたりして危険でないようにしたウイルスや細菌を少量からだに入れ、その病気から赤ちゃんを守るために体内に抗体を作る役割をします。病気にかかる症状で苦しんだり、命に危険が及んだりすることも考えられるため、日本で摂取可能なワクチンは摂取することをおすすめします。ワクチンの副反応について、行政で事前に配られた説明資料を読んでも不安に思う場合は摂取する前に医師に確認しましょう。

★除菌?殺菌?消毒?違いはな〜に?

●殺菌

細菌やウイルスを殺すこと。医薬品や医薬部外品でしか表示できない。

〈主な殺菌アイテム〉
殺菌スプレーや
薬用石けん、
殺菌灯など。



●除菌

細菌やウイルスを減らすこと。医薬品や医薬部外品では表示できない。

〈主な除菌アイテム〉
洗剤、除菌スプレー、
拭拭用クロスや
シートなど。



●消毒

細菌やウイルスを不活化し、無毒化すること。菌やウイルスにより、効果のある消毒液は異なる。医薬品・医薬部外品。



★一番安全な感染予防策

一番安心でおすすめできる感染予防策は『手洗い』です。特に赤ちゃんは消毒用アルコールが使用できません。石けんの泡をしっかりたててする手洗いでウイルスを洗い流すことができます。赤ちゃんは手をぎゅっと握りしめていることが多く、手のひらにはゴミを大事に握っていることもあります。小指側からそっと大人の手を入れるとスムーズに手のひらが開いて洗えますよ。ママ、パパと一緒に楽しく手洗いをして感染予防の習慣をつけましょう。

参考資料: 月刊『赤ちゃん!』2023年4月号

今月のおすすめ絵本

★絵本の読み聞かせ

毎週月・金にお母さんたちが交替で行っています。ご一緒に参加してみませんか?



0さいから: 「みずたまりちゃん」

作・絵: 新井洋行 出版社: 講談社 880円

女の子や、蛙などの動物が、「いっちにの」「じゃっぼーん!」と、次々に「みずたまりちゃん」に飛び込んでいくと、最後にはなんと……!? 遠くからでもはっきりと見える絵は、読み聞かせ会にもぴったり。雨の日の楽しいお散歩気分が味わえ、小さい子の季節感も育まれる絵本。キラキラカバー付き。

★絵本の貸し出し

月曜日～金曜日 9:30～15:00

(保育園の本を貸出中)。

絵本の借用のみの利用はお断りいたします。



3さいから: 「かえってきたカエル」

作: 中川ひろたか 絵: 村上康成 出版社: 童心社 1540円

カエルをみんなで飼おうと、エサをさがしにでかけます。ところが園長先生がにがして……。

(絵本ナビHPより)

今月の予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
自主交流	自主交流	自主交流 たんぽぽばあちゃんの日 【ぐしかわ看護学校実習生受入日】	自主交流 食育講座	自主交流		
8	9	10	11	12	13	14
自主交流	自主交流 たんぽぽばあちゃんの日	自主交流 リフレッシュサークル ha☆sh!	自主交流	自主交流 身体測定日		
15	16	17	18	19	20	21
自主交流	自主交流	自主交流 たんぽぽばあちゃんの日 七夕飾り製作	自主交流	自主交流		
22	23	24	25	26	27	28
自主交流	沖縄慰霊の日	自主交流 たんぽぽばあちゃんの日 【ぐしかわ看護学校実習生受入日】	自主交流 誕生会	自主交流		
29	30	※実習生受入について・・・看護学校学生、保育専門学校の学生が子育て支援センターについて学ぶため活動に加わります。ご理解とご協力よろしくお願いします。				
自主交流	自主交流 親子遠足					

利用に関して・・・行事、子育て講座、誕生会、サークルなどへの参加は事前申し込みが必要となります。カレンダーや掲示板のお知らせをご確認ください。(LINE受付、直接申込みなど内容によっては方法が異なりますのでお問合せ下さい)

沖縄市 公認心理師による子育て相談

※今年度より相談の日程が変わります。

奇数月(5.7.9.11.13)に1回、沖縄市の公認心理師による個別相談を行っています(予約制)。日々の「ちょっと困ったな」や育児への不安など、一人で抱え込まずにお気軽にご相談ください。

たんぽぽばあちゃんによるの伝承あそび

毎週1回、たんぽぽばあちゃん(新本さん)が遊びに来てくれます。沖縄のわらべうたや昔話、伝承遊びなどを、心地よい「うちなーぐち(沖縄の言葉)」で楽しみませんか? お子さまと一緒に、心温まるふれあい遊びを体験しましょう。

子育てサークル

★リフレッシュサークル ha☆sh!

子育て中のイライラやストレスでホッとできる時間がとれないお母さん。ストレッチやコアトレーニングを通してリフレッシュしませんか? 参加をご希望の方は、直接支援センター窓口にてお申し込みください(サークルのみの参加は不可、日頃から広場をご利用の方が対象です)。

★つく～る☆さーくるくるくる

現在、活動をお休みしています。再開の際はこちらでお知らせいたします。

子育て役立ちガイド

★OKIIKU(おきいく)

沖縄市の子育て支援に関するポータルサイト



★その他の子育て支援センター

- ・あけぼの子育て支援センター(胡屋あけぼの保育所2階)
- ・子育て支援室「チャーム」(みさとこども園内)
- ・こひつじクラブ(愛星幼稚園内)

★つどいの広場・出張ひろば

- ・つどいの広場 池原 池原公民館内
- ・つどいの広場 泡瀬 泡瀬第三公民館内
- ・つどいの広場 中の町 中の町公民館内
- ・出張ひろば 宮里児童センター

★一時預かり

- ・きらきらこども園 Ageda
- ・きらきらこども園

★沖縄市ファミリー・サポート・センター

「預けたい人」と「預かりたい人」を地域でつなぐ有償ボランティア制度です。

情報

★ホームページ

<https://www.okinawa-tanpopo.com/>



★メール okinawatanpopo@hoikuen.to

